

# 陳舜臣さんを語る会通信

NO.24 Nov. 2020

発行 兵庫県明石市北朝霧丘2-8-34  
 橘雄三方「陳舜臣さんを語る会」  
 Tel. 078-911-1671  
 編集 「陳舜臣さんを語る会通信」編集委員  
 発行日 2020年11月15日

## 『世界の都市の物語 16 香港』

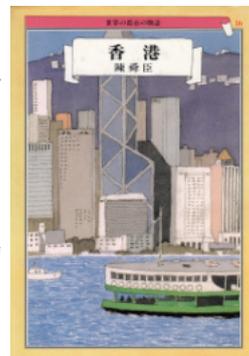
文藝春秋社発行『世界の都市の物語』全16巻の内、陳舜臣さんは、『4 イスタンブール』(1992年発行)と『16 香港』(1997年5月発行)を執筆されています。『香港』の初出は次のとおりです。

- 「1 巨人の揺籃」別冊文藝春秋215号 1996年4月
- 「2 先駆者のまち」同216号 96年7月
- 「3 青春と革命」同217号 96年10月
- 「4 二十世紀の四十年」同218号 97年1月
- 「5 中国返還への道のり」同219号 97年4月
- 「6 紫荆旗」書き下ろし

「香港」の中国返還が1997年7月1日ですから、この時期の『香港』執筆、発行は当然、意図的だったでしょう。

タイトルが「都市の物語」で、『香港』には、容閔、黄遵憲、孫文など、陳作品なじみの人物が多数登場し、陳さんらしい内容になっています。

(編集委員 橘雄三)



### 《「香港」の形成と返還》

まず、「香港」の【形成】についてふれます。

- ①1842年 アヘン戦争の結果、南京条約で香港島、イギリス領となる。
- ②1860年 アロー号事件(第二次アヘン戦争)の結果、北京条約で九竜半島南端部、イギリス領となる。
- ③1898年 帝国主義の時代、列強の中国分割が進む中、イギリスは、②を除く九竜半島の大部分と付近の島嶼、「新界」を99年という期限で租借。

次は【返還】です。

1984年4月 イギリス外相、香港返還を明言。

11月 サッチャー首相と趙紫陽首相の間で香港の主権問題で共同声明を発表。

1997年7月1日 中国へ返還。

99年の租借期限が来た「新界」だけでなく、割譲されていた香港島、及び九龍も返還された。



「新界」とはNew Territoriesの訳。上図、緑色の部分(Wikipedia掲載地図に加筆)

### 香港年表(『香港』掲載年表をもとに編集委員加筆)

1279	厓山の戦い(宋滅亡)
1656	清朝、遷界令交付(~84)
1840	アヘン戦争(~42)
1841	イギリスの人口調査で、全香港の人口7405
1842	南京条約。香港、イギリス領となる
1856	アロー号事件(第二次アヘン戦争~60)
1860	北京条約。イギリスに九竜半島先端部割譲
	容閔、天京(南京)の太平天国(1851-64)訪問
1892	孫文、西医書院卒業(一期生)
1894	日清戦争(~95)
1895	下関条約。10月、孫文ら決起失敗。香港当局、孫文らに五年間、入境禁止
1898	イギリス、南端部分を除く九竜半島と付属島嶼を99年間租借。9月、戊戌政変(康有為らの改革失敗)
1900	義和団事件起こる
1901	香港人口36万
1912	(1911年、辛亥革命) 1.1 中華民国成立
1914	第一次世界大戦(~19)
1919	五・四運動。6月、ヴェルサイユ条約
1931	9.18 柳条湖事件、満州事変起こる
1937	7.7 盧溝橋事件、日中戦争始まる
1938	10月、広州、日本軍に占領される
1941	12.8 日本、米英に宣戦布告。12.25 香港、イギリス総督降伏。香港人口175万
1943	11月、カイロ会談
1945	2月、ヤルタ会談。8.15 日本降伏
1947	香港人口180万
1949	10.1 中華人民共和国成立
1956	10.10 九龍事件発生
1961	香港人口312万
1967	3.8 香港で文革さわぎ
1984	4月、イギリス外相、香港返還を明言。11月、サッチャー首相と趙紫陽首相の間で香港の主権問題について共同声明を発表
1986	香港人口540万
1997	7.1 香港返還



## 補足(2) 戦後、新中国文芸界の中心となった茅盾(ぼうじゅん)

### 《「香港」は一時左派文化人の拠点》

『香港』の記述を引用し、茅盾(1896-1981)を見ていきます。

最後に、茅盾の郷里、現在の浙江省桐郷市烏鎮の故居を紹介します。写真は編集委員撮影。

一九三八年十月に、日本軍が広州を占領すると、香港の重要性はますます高まったのである。一九三九年二月、国民党五届(回)五中全会で、右派が主流を占めると、左派にたいする迫害がはじまった。このとき、重慶や桂林から多くの人々が迫害をのがれて、香港に流入してきた。このため香港は一時左派文化人の拠点となり、香港文化史上、「黄金時代」とされる時期が出現したのである。(P. 197-198)

このとき流入した左派文化人に茅盾がいた。その後も流入文化人は増え続けた。

香港文化史上の「黄金時代」は長くはつづかな

かった。香港も、1941年12月25日、クリスマスの日、日本軍の手に陥ちた。

日本軍が香港を陥してまもないころ、八路軍駐香港弁事処の廖承志は、中共中央の周恩来からの密電に接していた。

— 多くの重要な民主人士、文化界の人士は、香港で難儀しているはずだ。彼らは我が国文化界の精華である。あらゆる方法を講じて、彼らを救出せよ。というのである。(P. 209-210)

廖承志らほか、ゲリラの人たちの大作戦が展開され、左翼系民主人士や文化人八百余人が救出されました。この箇所、陳舜臣さんは茅盾のほか、胡繩、何香凝らに言及しています。

茅盾は、この後、新中国文芸界の中心人物として活躍します。代表作に『子夜』『腐蝕』『霜葉は二月の花に似て紅なり』などがあります。



## 1997年6月30日24時をまたいで 香港返還式挙行

1997年6月30日夜半、チャールズ皇太子と江沢民国家主席、トニー・ブレア首相と李鵬国务院総理の出席のもと、返還式典が行われた。24時直前にイギリス国歌の演奏のもとイギリス国旗と香港旗が降納され、時報とともに今度は中国国歌に合わせて中国国旗と香港特別行政区区旗が掲揚された。左の画像



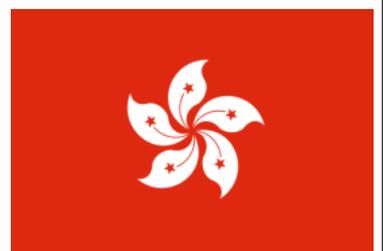
は、その瞬間です。(courrier japan より)

香港特別行政区区旗は紫荊花(通称、蘇芳)をデザインしたものです。

『香港』「6紫荊旗」の記述を引用します。

区旗の紫荊花は花びらが五枚ある。その五枚の花びらに、それぞれ一つずつ星がはいっている。これが国旗の五星紅旗と対応しているのである。赤地に白の紫荊花で、花のなかの星も紅色であり、紅白二色のデザインは、一国二制をあらわしているという。

昨今、「一国二制」があやしくなってきました。



## 中国ではやった艾敬(アイチン)の「我的1997」

「我的1997」は、1993年5月に放映されたNHK番組『太平洋の世紀－中国の二つの顔－』の最後に流れていた曲で、録画のその部分だけ何度も見たので、そしてまたメロディが何とも楽しいので、口ずさめるほどになってしまった。

この時期、1984年に調印された中英合意文書によって、既に、1997年には、「香港」が中国に返還されることがわかっていた。そんな香港への憧れを歌っ

たのが「我的1997」である。評劇(河南省の劇)の軽やかなメロディと歌手艾敬のさわやかな歌唱で大変魅力的な歌になっている。

2000年夏、艾敬が日本にやって来た。私は大阪までライブを聴きに行き、サインをもらった。

少し長くなるが、ここに歌詞の全部をあげます。

なお、下に記した公式サイトで視聴できるので、是非一度、聴いてみて下さい。(編集委員 橘雄三)

### 「我的1997」 作詞・作曲・歌 艾敬

私の音楽の先生は父です  
父は二十年ずっと国の工場で働いてきました  
母はかつて評劇で歌っていました  
彼女は、時代が悪かったとぐちつてばかりいます  
(文化大革命の時代で、上演できなかった)  
少女の時、私は歌で表彰されたことがある  
二人の妹も、私と同じようになりたいと思っています



艾敬 Ai jing 【我的1997】  
Official Music Video

私は十七歳の時故郷の瀋陽を離れた  
そこには私の夢がないと感じたから  
私は一人、よく知らない北京へやってきた  
そして、有名な王昆団長の東方歌舞団に入った  
本当は、芸校の時代が最もなつかしい  
しかし、先生たちはそういう考えではない  
歌える喉によって  
生活はそんなにぎりぎりではなかった  
私は歌って北京から上海まで行った

そして、上海から、憧れの南方までも行った  
私が広州に留まっていた期間は比較的長い  
私の彼が香港にいるから



艾敬  
『明日風尚』(2007.6)より

香港はいつからあるの？  
香港人ってどんな人なのかなあ？  
彼は瀋陽へ来られるのに、私は香港へ行けない  
香港、香港その香港  
侯さんは、勇気を出して香港へ来るように言う  
香港、香港どうして人気があるのかな  
聞くとところによると、そこは崔さんの重要な市場だそうな  
私を華やかな世界に行かせて  
出国許可の印を押して

早く来て一九九七年！ ヤオハンって一体どんなところかな  
(ヤオハンとは日本資本の百貨店。一九九七年破綻)  
早く来て一九九七年！ 私はHONG KONGへ行ける  
早く来て一九九七年！ 私を香港コロシアムで歌わせて  
早く来て一九九七年！ 彼とナイトショーを見に行くの  
早く来て一九九七年！ ヤオハンの服ってどんなのかな  
早く来て一九九七年！ 私は香港へ行ける

※日本語訳は編集委員。( )の文章は編集委員補足